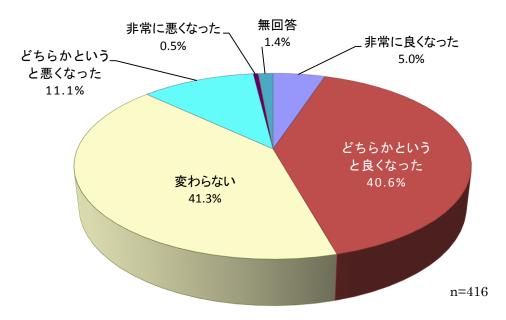
13. 宇都宮市の景観について

- (1) 宇都宮市の景観は10年前と比べてどうなったと感じるか
 - ◇ 「非常に良くなった」と「どちらかというと良くなった」を合わせた【良くなった(計)】が4割半ば

問38	宇都宮市の景観は10年前と比べてどうなったと感じますか。	(宇都宮市在住10年前未満の人
	は、転入当時と比べてどうなったと感じますか。)	(0は1つ)
		n=416
1	非常に良くなった	5.0%
2	どちらかというと良くなった	40.6%
3	変わらない	41.3%
4	どちらかというと悪くなった	11.1%
5	非常に悪くなった	0.5%
	(無回答)	1.4%

<図IV-7-1>全体



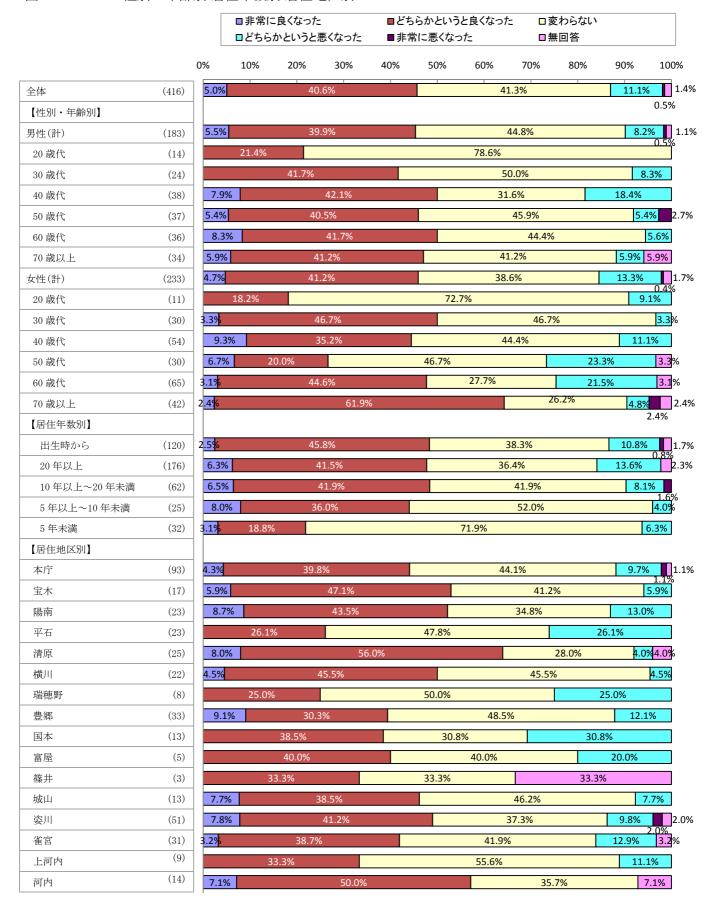
宇都宮市の景観は10年前と比べてどうなったと感じるかについては、「非常に良くなった」が5.0%、「どちらかといえば良くなった」が40.6%で、これらを合わせた【良くなった(計)】は45.6%であった。一方、「変わらない」も41.3%あった。(図IV-7-1)

性別・年齢別でみると、「変わらない」は<男性/20歳代>の78.6%で最も高く、「どちらかというと良くなった」は<女性/70歳以上>の61.9%で最も高かった。(図IV-7-2)

居住年数別でみると、「変わらない」は<5年未満>の71.9%で最も高かった。(図 $\mathbb{N}-7-2$)

居住地区別でみると、「変わらない」は<上河内>の 55.6%で最も高く、「どちらかというと良くなった」は<清原>の 56.0%で最も高かった。(図IV-7-2)

<図 $\mathbb{N}-7-2>$ 性別·年齢別/居住年数別/居住地区別

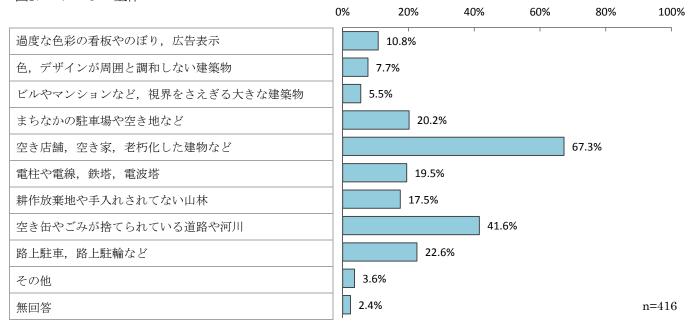


(2) 宇都宮市の景観上好ましくないと思うもの

◇ 「空き店舗、空き家、老朽化した建物など」が7割弱

問39	宇都宮市において、景観上好ましくないと思うものは何ですか。	(○は3つまで)
		n=416
1	過度な色彩の看板やのぼり、広告表示	10.8%
2	色、デザインが周囲と調和しない建築物	7. 7%
3	ビルやマンションなど,視界をさえぎる大きな建物	5. 5%
4	まちなかの駐車場や空き地など	20. 2%
5	空き店舗、空き家、老朽化した建物など	67. 3%
6	電柱や電線、鉄塔、電波塔	19. 5%
7	耕作放棄地や手入れされてない山林	17.5%
8	空き缶やごみが捨てられている道路や河川	41.6%
9	路上駐車、路上駐輪など	22.6%
10	その他 ()	3.6%
	(無回答)	2.4%

<図IV - 7 - 3 >全体



宇都宮市の景観上好ましくないと思うものは何かについては、「空き店舗、空き家、老朽化した建物など」が 67.3% と最も高く、次いで「空き缶やごみが捨てられている道路や河川」が 41.6%、「路上駐車、路上駐輪など」が 22.6% と続いている。(図 $\mathbb{N}-7-3$)

性別・年齢別でみると、「空き店舗、空き家、老朽化した建物など」では<女性/30 歳代>が 76.7%で最も高く、「空き缶やごみが捨てられている道路や河川」では<女性/20 歳代>が 54.5%で最も高かった。(図N-7-4)

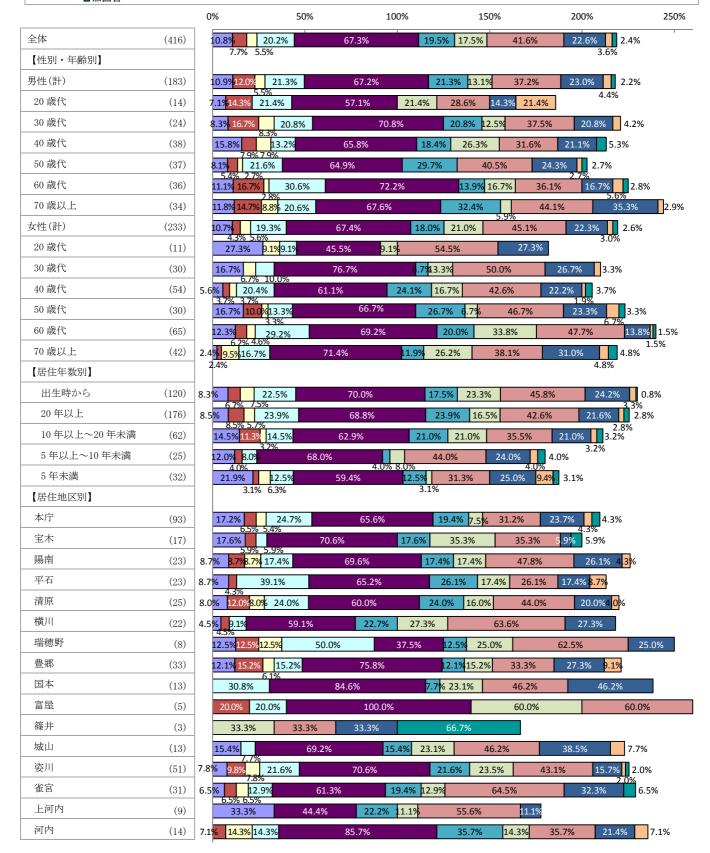
居住年数別でみると、「空き店舗、空き家、老朽化した建物など」と「空き缶やごみが捨てられている道路や河川」では<出生時から>が最も高く、それぞれ70.0%、45.8%であった。(図IV-7-4)

居住地区別でみると、「空き店舗、空き家、老朽化した建物など」では<富屋>が 100.0%で最も高く、「空き缶やごみが捨てられている道路や河川」では<雀宮>が 64.5%で最も高かった。(図IV-7-4)

$< 図IV - 7 - 4 > 性別 \cdot 年齢別/居住年数別/居住地区別$

- □過度な色彩の看板やのぼり、広告表示
- □ビルやマンションなど、視界をさえぎる大きな建築物
- ■空き店舗、空き家、老朽化した建物など
- □耕作放棄地や手入れされていない山林
- ■路上駐車,路上駐輪 など
- ■無回答

- ■色. デザインが周囲と調和しない建築物
- □まちなかの駐車場や空き地など
- ■電柱や電線, 鉄塔, 電波塔
- ■空き缶やごみが捨てられている道路や河川
- ■その他

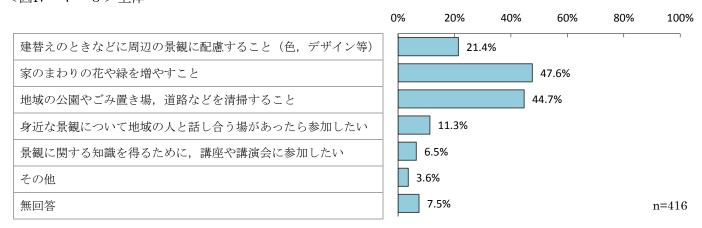


(3) 景観について取り組んでいる(又は取り組んでみたい)こと

◇ 「家のまわりの花や緑を増やすこと」が5割弱

問40	景観について、あなたが取り組んでいる(又は取り組んでみたい)	ことは何ですか。
		(○は2つまで)
		n=416
1	建替えのときなどに周辺の景観に配慮すること(色、デザイン等)	21.4%
2	家のまわりの花や緑を増やすこと	47.6%
3	地域の公園やごみ置き場、道路などを清掃すること	44.7%
4	身近な景観について地域の人と話し合う場があったら参加したい	11.3%
5	景観に関する知識を得るために、講座や講演会に参加したい	6.5%
6	その他()	3.6%
	(無回答)	7.5%

<図IV-7-5>全体



景観について取り組んでいる(又は取り組んでみたい)ことについては、「家のまわりの花や緑を増やすこと」が 47.6% と最も高く、次いで「地域の公園やごみ置き場、道路などを清掃すること」が 44.7%、「建替えのときなどに周辺の景観に配慮すること(色、デザイン等)」が 21.4% と続いている。(図 $\mathbb{N}-7-5$)

性別・年齢別および居住年数別でみても、全体との差はみられなかった。(図IV-7-6)

居住地区別でみると、「家のまわりの花や緑を増やすこと」では<瑞穂野>が 75.0%、「地域の公園やごみ置き場、道路などを清掃すること」では<宝木>が 76.5%、「建替えのときなどに周辺の景観に配慮すること(色、デザイン等)」では<平石>の 39.1%がそれぞれ最も高かった。(図IV-7-6)

<図IV-7-6>性別・年齢別/居住年数別/居住地区別

- ■建替えのときなどに周辺の景観に配慮すること(色, デザイン等)
- □地域の公園やごみ置き場、道路などを清掃すること
- ■景観に関する知識を得るために、講座や講演会に参加したい
- ■家のまわりの花や緑を増やすこと
- □身近な景観について地域の人と話し合う場があったら参加したい
- ■その他

